

GSユアサ バッテリー

HJ-A24L(S) HJ-LB20L
HJ-LD26L

バッテリー取扱説明書 **補償書付**

このたびは、「GSユアサ バッテリー」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

バッテリーを正しくお取り扱いいただくため、バッテリーをご使用になる前や、点検の前に、本取扱説明書やバッテリー本体の注意表示をよくお読みください。誤った取り扱いをすると、引火爆発、焼損、破損、液漏れ、車両損傷、失明ややけど、けがなどの原因となります。また、本取扱説明書はお読みいただいた後もお手元に大切に保管してください。

尚、ご不明な点はご購入店または弊社にご相談ください。



説明書熟読

目次	1.ご注意.....①②③	5.バッテリーがあがったときには...⑩
	2.ご使用前に.....④	6.要項表.....⑪
	3.バッテリーの交換方法.....⑤⑥⑦	7.補償書/補償条件
	4.バッテリーの保守・点検方法...⑧⑨	

『リサイクルの推進にご協力をお願いいたします』

ご不要になった使用済みバッテリーは放置したり、一般ゴミと一緒に捨てたりしないでください。新しいバッテリーをご購入の販売店に引き取りをご依頼ください。



GS YUASA

HVR-6 (WG)

1. ご注意 (必ずお守りください)

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。
注意	人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です)

禁止の行為を告げる絵表示です。
「注意喚起」を促す内容があることを告げる絵表示です。
行為を強制したり、指示したりする内容を告げる絵表示です。

危険

■説明書熟読



説明書熟読

誤った取り扱いをすると、車両損傷、失明ややけどの原因となります。

■エンジン始動用以外に使用しない



<補償対象外>
漏液や焼損、引火爆発の原因となります。

■目にバッテリー液が入った時の注意



直ちに多量の水で洗眼し、速やかに眼科医の治療を受けてください。

■破裂、爆発注意



破裂、爆発注意

正しいご使用方法、取り扱いメンテナンスなど取扱説明書をよくお読みになってご使用ください。

■火気を近づけない



火気禁止

バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因となります。

■バッテリー液(希硫酸)取り扱いに注意



硫酸注意

失明ややけど、機器腐食などの原因となります。

⚠ 危険

■ こども禁止



こども禁止

こどもや取り扱い方法、危険を十分理解しないものにふれさせないでください。

■ バッテリー液が口に入るか、飲み込んだ時の処置



直ちに多量の水でうがいを繰り返し、多量の飲料水を飲み、速やかに医師の治療を受けてください。

■ 取り扱い時は保護メガネ、ゴム手袋を着用



メガネ着用

バッテリー液により失明ややけどの原因となります。

■ 使用済みバッテリーの取り扱いに注意



電気エネルギーが残っているのでこどもが触れる場所に保管しないでください。そのまま廃棄せず、ご購入店に引き取りをご依頼ください。

■ ブースターケーブルの使用は正しく行う



接続手順を誤ると引火爆発や火災の原因となります（詳細はP10を参照ください）。

■ バッテリー、バッテリー端子の分解、改造禁止



液漏れや火災、引火爆発の原因、失明、やけどの原因となります。

■ バッテリー端子に過大な力をかけない



端子の破損、液漏れの原因となります。

■ 金属工具などで ⊕ 端子と ⊖ 端子を接触（ショート）させない



スパークにより引火爆発や火災の原因となります。

■ 静電気に注意



静電気注意

乾いた布などで清掃したり帯電した身体で取り扱っていると静電気のスパークによる引火爆発の原因となります。

■ ケーブルターミナルや取り付け金具は確実に固定する



取り付けがゆるい状態や腐食した状態で使用するとスパークにより火災、引火爆発の原因となります。

■ 充電器の使用は正しく行う



取り扱いを誤ると引火爆発や火災の原因となります。充電器の取扱説明書に従い正しく充電してください。

■ 充電器の接続ケーブルは正しく接続し、充電中は取り外さない



スパークにより引火爆発や火災の原因となります。

■ バッテリーを落としたり倒したりしない



液漏れにより、失明ややけど、けがの原因となります。

■ 密閉された場所で使用しない



バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因となります。

⚠ 警告

■ バッテリーの交換は正しい順序で行う



順序を誤ると引火爆発の原因となります（詳細はP5～7を参照ください）。

■ 交換・点検は車両のキーを抜きライト等のスイッチをオフ（切）にする



引火爆発の原因となります。

■ ケーブルの取り付けは ⊕ と ⊖ を逆にしない



電子部品の破損、焼損や火災の原因となります（詳細はP5～7を参照ください）。

■ 充電時の注意



要項表（P11）の普通充電電流（A）以上で充電しないでください。充電直後の取り付け時はスパーク、火気に注意してください。引火爆発の原因となります。詳細は充電器の取扱書に従ってください。

■ 皮膚・衣服にバッテリー液が付着した時の処置



直ちに多量の水で洗い流し、石鹸で十分に洗ってください。やけど、衣服の損傷の原因となります。

■ 電気機器の直接接続禁止



配線が焼損し火災の原因となります。

■ 異臭、液漏れ、変形した状態で使用しない



破損や液漏れによる車両損傷の原因となります。

■ 液口栓の排気孔をふさがない



破裂の原因となります（詳細はP4「(3) バッテリー各部の名称」を参照ください）。

⚠ 注意

■ バッテリーは重量物取り扱い注意



横倒し、落下などによるけがや液漏れの原因となります。

■ ラベル、上ふた、制御弁を外さない



バッテリーの性能や寿命を著しく低下させる原因となります。

■ 使用温度範囲 -15℃～35℃（短時間使用は -30℃～50℃）で使用する



使用温度範囲以外では凍結や過熱により破損や変形の原因となります。

2. ご使用の前に

(1) バッテリーの用途

①HJ-LB20L、LD26L

日産スカイライン専用エンジン始動用バッテリーです。

②HJ-A24L(S)

マツダ・ユーノスロードスターエンジン始動用バッテリーです。

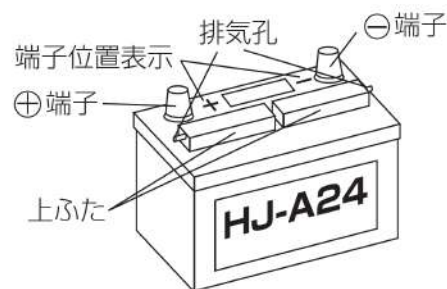
上記用途以外で使用しないでください。取り扱いを誤ると液漏れ、焼損、引火爆発の原因となります。

(2) 保管について

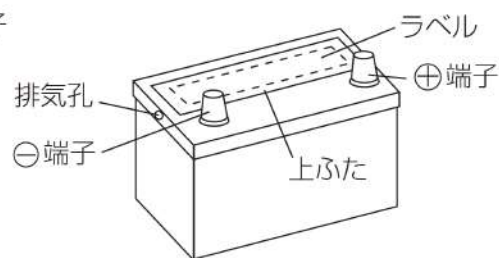
- ・高温、高湿、雨露、直射日光を受けることがない、また有害なガス、液滴、粉塵発生、浸水、水没の恐れのない風通しのよい場所に保管し、横倒しの状態や落下しやすい場所では保管しないでください。
- ・子どもや取り扱い方法、危険を十分に理解しないものがふれることのない場所に保管してください。
- ・火気を近づけたり、ショートさせないでください。
- ・保管中にバッテリーは使用しなくても自然に放電し、使用できなくなることがあります。ご購入後は速やかに使用を開始してください。

(3) バッテリー各部の名称

HJ-A24L(S)



HJ-LB20L、LD26L



※付属品

HJ-LB20L にのみL形プラグが付属しています。

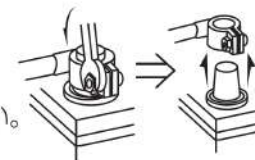
3. バッテリーの交換方法

- バッテリーの交換は、車両等の取扱説明書に従って自己責任のもとで行ってください。
- バッテリーの交換時にラジオ、時計、カーナビなどの電装品及びコンピューターのメモリのバックアップが必要かどうかは車両等の取扱説明書で事前に確認してください。
- バッテリーは端子位置（極性Rタイプ、Lタイプ）の異なるものと取り替えないでください。電子部品の破損、焼損や火災の原因となります。

(1) 古いバッテリーの取り外し方

①エンジンを止め、キーを抜く。

※スマートキーの場合はエンジンスイッチをLOCK位置またはOFF(切)状態にしてください。



②ガス抜き用L形プラグ・ホースを外してください。

※取り外しと接続(P6~7)を参照してください。
※ライト類のスイッチはOFF(切)にしてください。

③先に、アース側（一般的には⊖側）ケーブルを、次に⊕側の順でケーブルターミナルを外す。

※ケーブルターミナルを外す時は、まっすぐ上に引き上げてください。



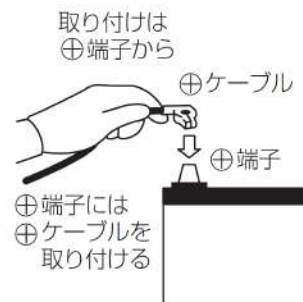
④取り付け金具を外し、バッテリーを両手でしっかり持って取り外す。

(ケーブルターミナルが汚れている場合はワイヤーブラシ、サンドペーパー等で清掃することをおすすめします。)

(Lタイプの場合)

(2) 新しいバッテリーの取り付け方

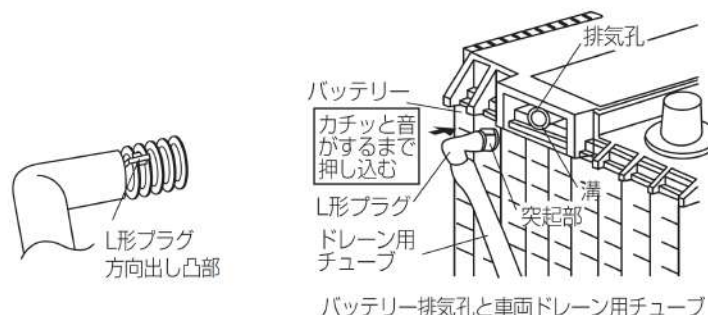
- ①取り付け前に、車両に合ったバッテリーであることを確認する。
- ②新しいバッテリーを両手でしっかりと持って水平に設置し、取り付け金具ががたつかないようにしっかりと取り付ける。
※取り付ける時に⊕⊖の位置を確認してください。
※取り付け金具を締めすぎるとバッテリーがこわれり、端子が変形することがあります。
- ③ガス抜き用L形プラグ・ホースを接続してください。
※取り外しと接続は(P6~7)を参照してください。
- ④先にバッテリーの⊕端子に⊕ケーブルターミナルを、次に⊖端子に⊖ケーブルターミナルを取り付ける。
※端子カバーがついている車両は端子カバーを元通りに取り付けてください。
- ⑤エンジン始動前にケーブルターミナルや取り付け金具のゆるみがないか確認する。
※工具等をエンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。



●ガス抜き用L形プラグ及びホースの取り外しと接続

【HJ-LB20、LD26Lの場合】

- ①L形プラグにホースを取り付けた状態で、L形プラグを手前に引き抜き取り外してください。
※L形プラグをねじったり、曲げたりすると、ガス排気に支障となることがあります。



- ②新品バッテリーに接続する時は、カチッと音がするまで強く押し込んでください。
※L形プラグの挿入部先端には方向出し用の凸部を設けています。方向出し用の凸部を真上から右に45°の位置に向けて挿入してください。
※ガス抜きホースが折れ曲がったり、つぶれるなどの排気のさまたげにならないようにしてください。

【HJ-A24L(S)の場合】

バッテリー排気孔から車両側排気チューブを抜き取ってください。
また新しいバッテリーに取り付ける場合は両側に確実に取り付けます。



●その他注意事項

日産スカイラインにおいてトランクルームにリヤストラットタワーバー、フロントフィニッシャーが装着されている場合はバッテリーを取り外す前に該当部品を取り外し、バッテリー取り付け後に元通りに取り付けてください。

4. バッテリーの保守・点検方法

●液量点検・補水は不要

このバッテリーは制御弁式(シールタイプ)のため、液量点検・補水ができない構造になっています。ラベル、上ふた及び制御弁を外さないでください。

バッテリーの性能や寿命を著しく低下させる原因となります。

(1) 日常の点検項目

長くご愛用いただくために次のことに注意してください。

①バッテリーの清掃

水で濡らした布で清掃してください。

※ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤、洗剤、化学ぞうきんを使用しないでください。電そう、ふたの破損や液漏れの原因となることがあります。

②取り付け金具・ケーブルターミナルの取り付け点検

バッテリー取り付け金具、ケーブルターミナルにゆるみがないか確認してください。ゆるんでいる場合は、ナットを締め、確実に固定してください。

③排気チューブを折ったりしないでください。

排気孔をふさぎますと、内圧で生じたガスの排出ができなくなりバッテリーを破裂させる原因となることがあります。

④排気チューブは取り付けられた状態にしてください。

排気チューブが取り付けられていないと内圧上昇により生じたガスがトランクルーム内に排出され、周辺を腐食させる原因となります。

(2) バッテリーの充電

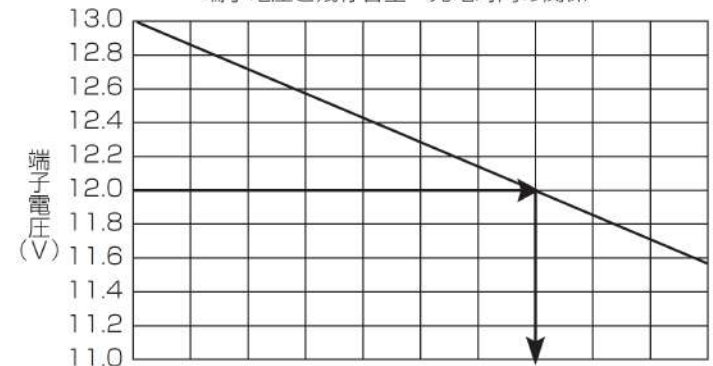
☆充電の目安

◆バッテリーの充電状態を知るために、電圧計をお持ちの場合は以下の方法で充電状態を確認し、充電の目安としてください。
(尚、シールタイプのため比重点検はできません)

端子電圧12.5V以下の場合には充電が必要です

表1 <端子電圧測定による残存容量算定の方法>

端子電圧と残存容量・充電時間の関係



残存容量5時間率容量 100 50 0 (%)
充電時間の目安 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10(時間)

(例) 端子電圧が12.0Vの場合、残存容量は約30%、また充電時間は約7時間となります。

☆充電の仕方

- ◆充電は、自動車用密閉型バッテリー対応充電器を使用するか、指定の充電条件(充電電流、充電時間)を守ってください。
- ◆充電器の使用は、充電器の取扱説明書にしたがってください。
- ◆充電は、車両より取り外し火気のない風通しの良い所で行ってください。(充電中は、引火爆発性のある水素ガスが発生します)
- ◆急速充電は絶対にしないでください。
- ◆充電の充電電流(A)はP11「6.要項表」をご参照ください。充電時間は上記表1より算定した充電時間としてください。
- ◆10時間以上充電しないでください。10時間を越えても充電が完了しない場合には、充電を止めてください。所定の充電時間を越えて充電するとバッテリーを漏液、発熱、爆発させる原因となることがあります。
- ◆充電中、バッテリーよりヒュー(ピー、シュー)といった音が発生した場合は、バッテリー内部の圧力が上昇し、制御弁が開きガスが放出された音です。直ちに充電を停止してください。

5. バッテリーがあがったときには

エンジンがかからない場合は、車両の取扱説明書に従って対処ください。
また、ご不明な点をご購入店にご相談ください。

(1) 充電器による充電の仕方

充電器でバッテリーを充電する場合は、充電器添付の取扱説明書に従い正しい手順で行ってください。充電時は車両よりバッテリーを取り外し、液口栓を取り外してください（火気厳禁）。

充電前にバッテリー液量を確認し、液量がLOWER LEVEL以下の場合は必ず補水してから充電してください。

液不足は爆発の原因となることがあります。充電電流の設定はP11「6.要項表」の普通充電電流としてください。

通電中にクリップを外すなどスパークの出る行為は厳禁です（爆発注意）。

充電完了後は液口栓を確実に取り付けてください。

※充電完了の確認は充電器の取扱説明書を参考にしてください。

※充電時間の目安は、普通充電電流で放電程度により5～10時間です。充電完了は放電程度により異なります。充電完了の目安は、どの液口からも盛んにガスが発生している状態です。

※ガスが発生しない、充電されないなどご不明な点がある場合はご購入店または弊社にご相談ください。



(2) ブースターケーブルによるエンジン始動

◆車両取扱説明書の「バッテリーがあがったときには」の項をお読みください。
(ブーストする場合にエンジンルーム内の専用端子を使用する場合があります。車両の取扱説明書にしたがって、ブースターケーブルを正しくご使用ください。)

6. 要項表

バッテリー型式	電圧 V	5 時間率容量 (Ah)	充電電流 (A)	充電時間 (h)	備考
HJ-A24L(S)	12	32	3.5 以下	10 以内	マツダ・ユーノス ロードスター専用
HJ-LB20L	12	27	3.5 以下	10 以内	日産 R33 スカイライン専用
HJ-LD26L	12	48	6.5 以下	10 以内	日産 R33,R34GT-R スカイライン (寒冷地仕様) 専用

注) 充電電流 (A) は普通充電の充電電流値を示します (急速充電は絶対にしないでください)。

「故障かな？」と思ったら…。(よくあるご質問、お問合せ)

①エンジンがかからない場合。

→放電している可能性がありますので充電をお願いします。P10「5-(1).充電器による充電の仕方」の項を参考にしてください。

注：放電はバッテリーの不具合、故障ではありませんが充電をしてもエンジンがかからない場合はご購入店までご相談ください(補償書を提示してください)。

②車両を長期間使用しない間に、バッテリーがあがってしまった。

→バッテリーを車両に搭載すると時計、コンピューターのメモリーなどの消費電力(暗電流)が常時流れ、車両によっては1ヶ月くらいでバッテリーあがりが発生します。

充電していただき、点検で正常であれば補償交換対象とはなりません。

③エンジン始動はできるが、バッテリーテスターで「要注意」と表示される。

→一時的に放電気味状態の場合、バッテリーテスターの判定で「要注意」などになる場合があります。

充電していただき、点検で正常であれば補償交換対象となりません。

<ご相談窓口>

株式会社 GSユアサ

(お客様相談室) 0120-431-211 (フリーダイヤル)

受付：月～金(年末年始、休日など除く) 9時～17時

※バッテリーの故障や寿命の判断など、ご相談内容によってはご購入店(通信販売、ネット販売等含む)とご相談いただく場合があります。

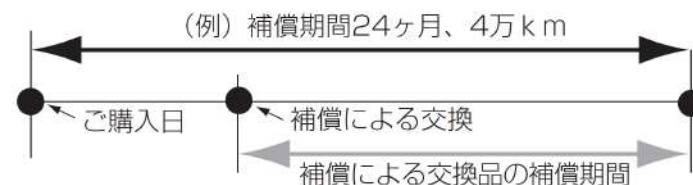
補償条件

本製品は厳密な品質管理と検査の上、お届けしておりますが、万一ご購入後、補償期間内に正常なご使用状態で不具合が生じた場合は、ご購入店(通信販売、ネット販売等含む)で点検・調査の上、下記の条件により補償させていただきます。

1.補償内容

下記の「補償の対象」「補償期間」に従って、無償で「新品」と交換させていただきます。また、バッテリー交換以外の責はご容赦願います。

尚、補償適用により新品交換した場合、補償期間は当初ご購入いただいた時点からの補償期間が適用されます。



2.補償の対象(国内使用品に限る)

製造上あるいは材料上の不具合により使用不能となったもの(充電で回復する単なる放電状態は適用外ですのでご了承ください)。

3.補償期間

補償期間はご購入日より起算した使用期間、または累計走行距離のいずれか早く到達した時とします(ご購入いただいた製品の補償期間について裏面の補償書をご確認ください)。

4.適用除外

補償期間内であっても下記の場合、補償は適用されません。

①補償書がない場合。または、必要事項が記入されていない場合

②単なるバッテリーあがりなど、充電により回復するもの(但し充電により回復した場合の充電代は有料となる場合があります)。

③以下の用途に使われた場合

- a) 自動車のエンジン始動以外の目的（機器の電源など）で使用された場合
- b) タクシー、ハイヤー、宅配車など運輸業に使用された場合
- c) アイドリングストップ車に使用された場合
- d) 教習車、緊急車両などの特殊用途自動車や、農業機械、建設機械に使用された場合
- e) 本バッテリーが適合しない車両に使用された場合

④天災、地災、火災、海難、動乱などによるバッテリーの破損ならびに故障

⑤使用上の酷使、手入れ不十分、過失または事故によって生じた故障と認められるもの

たとえば、(ア) 電そう、あるいはふたの変形、破損したもの

(イ) 電装品などの故障、欠陥により生じた事故

(ウ) ご購入後保管期間中、放電したまま放置した場合

(エ) 逆接続充電されたもの

(オ) 交通事故による破損・故障・機能低下の場合

(カ) バッテリーを修理・改造した場合

(キ) 過負荷となるアクセサリーを使用した場合

(ク) レースなどのスポーツ用途で使用された場合

(ケ) 車両搭載のままご使用にならずコンピューターメモリー負荷（暗電流）により放電した場合

(コ) ご購入後、保管中の自己放電によるもの

⑥自動車自体の原因による場合

たとえば、レギュレーターの設定電圧が基準値を越えて過充電となった場合

⑦補償書記載以外の車両に載せ替えた場合

⑧バッテリーの搭載位置、車両懸架緩衝装置、充電装置などに改造が加えられた車両で使用された場合

⑨不具合の車両がチェックできない場合

⑩所有者が変更となった場合

注意：ご購入店（通信販売、ネット販売等含む）以外での補償はできませんのでご注意ください。